



1月 調布幼稚園だより

令和8年1月8日



『新年に寄せて』

園長 山形美津子

新年あけましておめでとうございます

新しい年を迎える。今年の干支は、午（うま）です。「物事がうまくいく」「幸運が駆け込んでくる」といった縁起の良い言葉が多くあります。馬は人々にとって重要な存在でした。馬にまつわることわざも多くあります。

馬には乗ってみよ 人には添うてみよ ということわざがあります。

馬が良いか悪いかは乗ってみないと分からず、人柄は付き合ってみないと見えてきません。何事も自分で経験してみると相手の本来の姿や、合う合わないは分からぬのです。見た目や第一印象だけで判断せずに、一度、接してから判断するべきという教訓です。人間関係においては、時間をかけて相手を理解することの大切さを説いています。午年が希望に満ちた良い年となるよう祈っています。

さて、調布幼稚園の重要な取り組みの一つとして「東京都すくわく教育推進プログラム推進事業」があります。これは、東京都が推奨しているすべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する事業です。このプログラムは幼稚園や保育所で行われる主体的・協働的な探究活動を通じて、子どもたちの豊かな心の育ちをサポートする目的があります。

調布幼稚園では昨年度、正課で行っている「体操」と「英語」の時間に子どもたちが教員と共に活動内容を楽しみ、主体的に活動を進める取り組みについてエントリーしています。

今年度は、年中組と年長組が体験している「プログラミングのアクティビティ」を、この事業のプログラムの中で実践してきました。プログラミング的思考とは、幼児が遊びや生活の中で自分が意図する活動を達成するために、必要な手順を試行錯誤しながら論理的に筋道を立てて考えていく思考法です。

具体的には、どのような手順で動作をさせるか、記号の意図を理解し動作をどう変化させるか、また同じ動きや命令を効率的に何度も実行できるようにするにはどうするか等の手順をアクティビティに取り入れた活動のことです。

本園が実践しているアクティビティでは、2人組で一枚のシートや1個の小さな卓上ロボットを使いますので操作する時は必ず二人でのやり取り（話し合い）が必要になります。そのことにも大きな意味があります。自分はこうしたい、相手はどうしたいか、互いに考え合ったり譲り合ったりする活動が大事なのです。お互いに対話をしながら一つのものを創り上げていく過程において子どもたちは毎回ワクワクしながら好奇心をもって取り組んでいます。

そのことが深まっていくと探求心が高まり、更に追求しようと活動が連続していきます。年中組は5回、年長組は9回のアクティビティを体験してプログラミング的思考を育んできました。3学期もまだ2~3回ずつありますので、子どもたちの更なる主体的な探究活動に期待しています。小学校でも活かせる力が身に付いていくと考えています。

さて、3学期は一年間の仕上げをする時期です。この3学期は、子どもたちが次のステップに進んでいくための大変な時期です。年少組、年中組は次の学年への進級、年長組は、いよいよ小学校就学へと進んでいきます。子どもたち自身も自分の成長を自ら自覚し、大きくなったという喜びを表現する時期だと思います。そのような成長を認め、子どもの喜びの気持ちに寄り添い、励ますことで自信をもって進級や進学できるよう私達も頑張ります。

新しい年が子どもたちにとって素晴らしい年になるよう願っています。

今年も皆様のご健勝をお祈りするとともに、地域の皆様、保護者の皆様にはご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1月の目標

全学年

- 寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。
- 冬ならではの自然（霜、霜柱、氷、雪、日陰と日向の温度差など）に関心をもち、自然の神秘や不思議さを体感する。
- 畑やプランターで育てているものの成長や、収穫を楽しみにする。
- 日本の伝統行事や文化に触れ、興味や関心をもつ。
- 感染症予防のため、手洗いうがいをしっかりと行う。

年少組

- 担任やクラスの友達と一緒にリズム遊びや表現遊びを楽しむ。
- 鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びを、ルールが分かってみんなで一緒にすることを楽しむ。
- 友達と一緒に遊ぶ中で自分と同じ気持ちの子や、違う気持ちの子がいることを感じる。
- カルタや凧揚げなどのお正月遊びを通して日本の伝統的な遊びを楽しむ。

年中組

- いろいろな遊びに自分から取り組み、試したり繰り返し挑戦したりして遊ぶことを楽しむ。
- 友達との遊びの中で相手にも思いや考えがあることに気付くとともに、楽しく遊ぶためにはどうしたら良いか考えようとする。
- コマやカルタなどのお正月の遊びや、ルールのある遊びを通して、友達とかかわって遊ぶ楽しさや体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。

年長組

- コマや縄跳びなど課題に取り組む中で自分のめあてに向かって挑戦し達成する満足感を味わう。又、同じコマでも友達やクラスのチームで勝負する楽しさを味わう。
- 課題に個々の力を発揮して取り組んだり一緒に遊びを楽しんだりする中で、互いの力や良さを感じ、認め合う。
- ドッジボールなどルールのある運動遊びを通して、チームが勝てるように作戦を考えたり、力を合わせたりしながら、勝負の楽しさや団結する楽しさを味わう。
- カルタやすごろくなどのお正月遊びを通して、日本の伝統的な遊びを楽しみながら数や文字に関心をもつ。

正月の遊びを幼稚園でも楽しめます！



羽根つき

もともとは「羽をつくことで厄をはらう」という意味がありました。江戸時代、女の子の成長を願って羽子板を贈り物として使うようになりましたが、今でもその習慣が残っています。
おい羽根は、ムクロジという木のかたい種と鳥の羽根で作られています。

コマ回し

世界中に古くからあるおもちゃです。昔は先のとがった貝やどんぐりなどを使っていました。
今のようなコマは、平安時代に朝鮮半島の高麗から伝わり、高麗は「こま」とも言われて
いたため、名前の由来になりました。

【幼稚園では…】年中組は「引きゴマ」年長組は「投げゴマ」を楽しんでいます。
回せるようになると、友達と勝負をしたり、自分のコマに飾りを付けたり
しながら3月まで遊びが継続するほど、子どもたちに大人気の遊びです！

年中組の引きゴマ



凧あげ

平安時代に中国から伝わりました。初めは豊作かどうかを占うために、のちには情報を伝える合戦の道具として使われ、
江戸時代ごろより、広く親しまれるようになりました。

【幼稚園では…】手作りの凧をもって園庭やグランドを走り回って遊びます。寒い冬には体も温まる遊びです。

凧あげは、電線などが近くにない広い公園や土手などで風を受けてあがる凧の醍醐味を是非、味わって欲しいものです。
休日などご家族でも楽しめてみてはいかがでしょうか！

遊びの由来は【和の行事えほん 秋と冬の巻】より